

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020183

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	A		
単位施策	5	生涯教育施設・備品の有効活用	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	町民センター施設整備事業		見直し年度			
事業期間	平成27年度～平成28年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	施設整備			#N/A		
事業目標	施設整備		ハード／ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	町民センター施設整備			街路灯改修(2基)	紙折り機購入 180千円 レーザープリンター購入 230千円 自動ドア修繕 630千円	
	街路灯改修(2基)					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	1,930	0	0	890	1,040
	財源内訳					
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,818	0	0	880	938
	財源内訳					
【 評 価 ・ 実 績 】	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
前 期 計 画 か ら の 継 続 (継 続 無 し)	年度目標値			街路灯改修(2基)	備品購入、自動ドア修繕	
	年度達成率		#DIV/0!	#DIV/0!		#DIV/0!
第 6 期 計 画 へ の 継 続 (継 続 有 り)	全体達成率	0%	0%	0%	94%	94%
	備考欄					

事業名	町民センター施設整備事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋 朗
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係長	齋藤 康 志

様式1
平成27年度実施
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民センター	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	備品購入、自動ドア修繕
【抱える課題やニーズは】	事務用備品が経年劣化により、不具合を生じ事務に支障を来たしているほか、設備の老朽化による施設利用上の問題。	指標(指標計算式/解説)	目 標 値 及 び 実 績 値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	備品購入による事務作業の円滑化及び、設備修繕による施設の適切な運用。	① 紙折り機購入 レーザープリンター購入 自動ドア修繕	目 標 年 度 目 標 値 実 績 値 達 成 度
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	事務作業の効率化及び、町施設を安全に利用できる環境の提供。	②	目 標 年 度 目 標 値 実 績 値 達 成 度
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	紙折り機購入	見積り合せによる購入	平成28年度 1式 1式 100.0%
	レーザープリンター購入	見積り合せによる購入	平成28年度
	自動ドア修繕	自動扉開閉装置保守点検委託先による修繕	#DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	事務備品の故障は、事務作業に支障をきたし、住民サービスの低下に繋がることから、購入は必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	また、設備の修繕については広く町民の利用する施設の安全性の確保のため必要である。
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	備品購入により、事務の円滑化が図られ、設備修繕により安全性が確保できた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	事務の円滑化及び安全性の確保は、コストに見合う効果と判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町民サービスを目的とした事務用備品の購入であり、広く町民が利用する施設の修繕であることから、公平性は保たれていると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画事業費内で予定どおり購入・修繕を行うことができた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
施設や備品の老朽化の程度に応じ整備を行う必要があることから、継続し適切な整備を行う。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止